

実習を終えて

自宅から30分くらいの通える病院に行きました

とても厳しく、初めは泣いていました。

友人達はいいい人ばかりで実習は楽しいらしく、なのに自分は大変だと・・・

病院での実習は学校と違い検体をどう扱うのか？今まで教わってきた事の質問に答えられず、とまどうことが多かったようです。

レポートを再提出になったり、うまく課題が処理できなかつたりしても、指導者が怖くて質問や聞くことができずに何週間もいたようです。

それでも他の方々はお世話をしてくれる方もいて、教えてもらったり、お菓子をいただいたりしていました

無事に研修を終えたときには、指導の方に「頑張ったね」と言われたと嬉しそうに話していました。

本人の努力もあるでしょうが、週1の学校での気分転換と先生方にフォローされて乗り切った実習でした。

実習を終えて

実習地や病院の情報は先生や先輩方からのアドバイスがあるので、心配はいりませんでした。

過酷な実習を乗り切るためには、しっかり 3 食食べることが大切です。特に渡航の際は、レポートや睡眠に時間を使うため自炊をする余裕はなかなかないと思います。そのため夜は定食屋さんで済ますことで、時間もかからず食事もしっかり摂ることができると考え、多めに食費を持たせました。

実習中に親が出来るサポートは、やはり健康面が重要であると思ったので、体調を崩すことなく実習を終えてくれたことに安心しています。